

一般社団法人日本頭痛学会

2023 年度新理事選挙

現職立候補者名簿

2023年度 新理事選出選挙立候補者名簿

(五十音順)

No.	氏名	所属	抱負
1	浅野 賀雄	埼玉精神神経センター 脳神経内科 埼玉国際 頭痛センター	私は日本頭痛学会の理事を拝命し、総務委員会委員長のほか各種委員会の委員として努力してまいりました。また、地域医療における頭痛診療の中核的な医療機関として慢性化した難治頭痛患者の診療に当たるほか、教育機関や一般市民への啓発活動や頭痛診療の医療連携にも取り組んでいます。引き続き日本頭痛学会の発展とわが国の頭痛医療レベル向上に貢献できるよう努力してまいります。
2	栗木 悦子	鳥取県済生会境港総合病院 脳神経内科	私は日本頭痛学会理事、専門医、指導医、代議員として頭痛診療の向上を目指してまいりました。現在、国際頭痛分類委員会、専門医委員会の委員を拝命しておりますが、引き続き学会活動の活性化に寄与できるよう努めます。またダイバーシティ推進小委員会委員として女性会員の活躍の場を広げる活動にも取り組んでまいります。さらには後進育成やプライマリケア医との連携、市民に対する啓発活動にも注力していく所存です。
3	今井 昇	静岡赤十字病院 神経内科・頭痛センター	過去の経験を活かし、日本頭痛学会の発展と、頭痛診療の均霑化に尽力致します。①広報委員会委員長として学会員の先生方だけでなく非学会員の先生や一般の方への情報発信を更に充実させていきます。②自分が行っている地域頭痛医療連携を継続しつつ、他の地域の医療連携の立ち上げを支援していきます。③後進の指導や患者教育を継続していきます。④共同研究を含め現在行っている臨床研究の成果を引き続き本学会並びに国際頭痛学会等で発表していきます。
4	古和 久典	独立行政法人国立病院機構松江医療センター	私は、日本頭痛学会の総務委員会副委員長、専門医試験小委員会委員長、施設認定小委員会委員長、専門医委員会、教育関連委員会、編集委員会、HMSJ 組織委員会の各委員として、学会活動のさらなる活性化に努めます。これからも理事として、地方における日本頭痛学会の会員数を増やし、一次性頭痛を中心に診療精度を向上し、患者さんに必要な治療を届けられるよう頭痛診療の均霑化やさらなる発展に取り組んでまいります。
5	柴田 護	東京歯科大学市川総合病院 神経内科	診療向上委員会とガイドライン委員会で委員長を務めさせて頂いております。診療向上委員会では、R6年診療報酬改定に向けて頭痛医療の発展に役立つ提案を取りまとめたり、新規治療法の承認に向けた作業に従事してきました。ガイドライン委員会では、CGRP 関連抗体薬に関する新規 CQ を HP に逐次掲載し、同治療薬をより使いやすくするように配慮してまいりました。今後も理事として本学会の発展に尽くしていきたいと思っております。

No.	氏名	所属	抱負
6	鈴木 倫保	医療法人社団綾和会 間中病院 山口大学大学院医学 研究科	私は、2014年に第42回総会会長を拝命し、一次性・二次性頭痛の基礎から最先端の治療を幅広く学べるよう企画し、約千名の参加者数で成功裏に終わることができました。 今後は、これまでの脳卒中、脳神経外傷の臨床・基礎研究で得られたCSD (cortical spreading depolarization)の知見を、頭痛診療および研究に応用し、実用化することで、頭痛学会の発展に寄与したいと希望します。
7	竹島多賀夫	社会医療法人寿会 富永病院 脳神経内 科・頭痛センター	日本頭痛学会にて、複数の委員会の委員、委員長、副委員長として活動してきました。2022年からは代表理事を拝命しています。頭痛学会の発展のため、branding、globalization、diversityを3本の柱とし、多くの会員、代議員、理事の先生方のご協力、ご指導をいただき、学会の活性化を進めています。引き続き、理事として貢献させていただき所存です。どうぞよろしくお願い致します。
8	永田栄一郎	東海大学医学部内科 学系脳神経内科	私は、頭痛病態の解明、診療向上を目指し研究・臨床に励んでおります。日本頭痛学会では、専門医、指導医、代議員として、各種委員会委員（編集委員長、選挙管理副委員長、財務委員、専門医委員、教育関連委員、ガイドライン委員、国際頭痛分類委員など）を務めさせて頂いており、日本神経学会では頭痛セクション・コアメンバーをさせて頂いております。今後国際的にも日本頭痛学会を発展させるために努力いたしたいと思っております。
9	西山 和利	北里大学 脳神経内科学	私は本邦における頭痛診療により多くの脳神経内科医の参画が必要であると主張して2022年から当学会理事を拝命いたしました。その後私は脳神経内科医の基盤学会である日本神経学会の代表理事に就任しましたので、日本頭痛学会と日本神経学会の懸け橋になることが容易になっております。日本頭痛学会の理事に再度選出いただけたあかつきには、頭痛の診療、教育、研究に取り組む医師を増やすためにさらなる努力をする所存です。
10	端詰 勝敬	東邦大学医学部 心身医学講座	ここまで利益相反委員長として、日本頭痛学会の指針を作成し、役員等の利益相反の確認を続けてきました。さらに、診療向上委員会内に、「難治性片頭痛の認知行動療法マニュアル作成」のためのワーキンググループを立ち上げ、マニュアルを完成させたのちに、定期的に講習会を参加しております。今後は2025年日本頭痛学会学術総会も主催予定です。
11	橋本洋一郎	済生会熊本病院	2026年の第54回日本頭痛学会学術集会の会長を務めさせて頂くことになりました。頭痛全般に関する診療・教育・研究・社会の啓発を行い、日本の頭痛診療の向上、日本頭痛学会の発展に寄与していきたいと思っています。40年にわたる頭痛診療の経験を活かし、熊本や九州のみならず全国の頭痛診療の向上とネットワークによる頭痛診療の均てん化を図るために会員の皆様と協力して「頭痛診療の社会実装」を実現したいと思っております。

No.	氏名	所属	抱負
12	平田 幸一	獨協医科大学 頭痛センター	小職は第37回日本頭痛学会総会の開催をはじめとして、頭痛医療と頭痛教育の推進、さらにはJAPACという患者様との組織作りにも力を入れてまいりました。また、前代表理事として本学会を牽引してきたつもりです。頭痛研究についても幅広く行い新知見を発表してきました。これらの背景と経験を生かし、日本頭痛学会会員のご支援を賜りながら、これからの日本頭痛学会の発展のために最大限の努力をしてゆくつもりでおります。
13	矢部 一郎	北海道大学大学院医学研究院 神経病態学分野神経内科学	私は、頭痛医療の発展に向けて、本学会理事、北海道頭痛セミナー運営等に取り組んできました。また、国際頭痛分類委員会委員長、財務委員会副委員長でもあります。北海道内の研修病院において、頭痛診療についての講義や講演を担当し、卒前および卒後教育にも積極的に取り組んでいます。今後もわが国の頭痛診療・教育・研究への取り組みに積極的に参画し、日本頭痛学会の発展に貢献していきたいと考えています。
14	山中 岳	東京医科大学病院 小児科・思春期科学分野	私は、日本頭痛学会の理事、専門医委員副委員長、編集委員、ガイドライン委員、プログラム委員、頭痛診療に関心をもつ小児科医の集い世話人を務めております。本総会や日本小児神経学会の教育講演・シンポジウム、HMS Jの講演を通して小児の頭痛診療の啓発に努めております。 社会に還元することを自身の理念とし、小児科医として微力ながら日本頭痛学会の発展にこれからも寄与したく引き続きよろしくお願い申し上げます。
15	山元 敏正	埼玉医科大学 脳神経内科	現在、当教室ではとくに頭痛診療に力を注いでおり、頭痛専門外来で難治性片頭痛、薬剤の使用過多や脳脊髄液減少症など多数の頭痛患者を診療しています。また埼玉県を中心に頭痛に関する講演会を医師会などと協力して多数開催し、頭痛の啓発活動を積極的に行っております。今後も、理事として日本の頭痛診療や日本頭痛学会の発展に向けて、さらに尽力する所存です。
16	山脇 健盛	福島生協病院 脳神経内科	私は、日本頭痛学会理事、代議員、用語委員長、専門医委員、編集委員、として、日本頭痛学会の活動、発展に努めてまいりました。また、頭痛専門医の少ない広島において、プライマリケア医を中心に頭痛診療の啓発にも努めてきました。まだまだ「たかが頭痛」と言われることが多い中で、学会と協力してひとりでも多くの頭痛患者さんが救われるような体制づくりを目指したく、引き続いて理事に立候補させていただきました。